

第35回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会・監督者会議

大会規模：参加クラブ数 859 チーム 参加人数・男子 1,740 名・女子 1,565 名・計 3,305 名

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2012年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技進行はタイムスケジュール通りに行う。
- (3) 予選競技は各種目とも、タイムレースで行う。出場者が8名以下の場合、予選は行わない。
予選競技は10コースで行う。
- (4) 決勝は全種目行い、CS個人種目のみ予選申込者25名以上の種目に限って、B決勝を行う。
- (5) 決勝・CSのB決勝進出は予選の結果、上位8名が決勝に、9位から16位の選手がB決勝に出場できる。
棄権者が出たときは、次点上位者より順次出場権を与える。
- (6) 決勝・CSのB決勝進出は、同記録で予定人数を超えた場合、抽選を行う。
補欠の優先順位抽選も同様におこなう。
- (7) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のため必ずADカードを持参すること。
- (8) 予選を棄権する場合は所定の届出用紙に記入し、当日の午前9時10分までにインフォメーションデスクに届け出る。時間内に届出をしなかった場合は棄権料3,000円、無断で棄権した場合は罰金3,000円を徴収する。
前日に提出可能な届出は受け付ける。
- (9) 決勝・B決勝を棄権することは出来ない。やむなく棄権する場合は当該予選競技終了後30分以内に棄権料3,000円を添えて提出すること。
無断で棄権した場合には、棄権料とは別に罰金3,000円を徴収する。
- (10) 競技は、女子はA面、男子はB面で行う。下記の競技はA面とB面を入れ替えて行う。
招集は変更された招集所で行う。
 - ・1日目 No.22.男子13~14才 400m個人メドレー予選(A面)
 - ・2日目 No.96.男子 C S 1500m自由形予選3組(A面)
 - ・3日目 No.162.男子 C S 400mリレー予選2組・4組(A面)
- (11) 予選リレーオーダー提出は、競技当日の午前10時までにインフォメーションデスクに提出すること。
決勝リレーオーダー提出は、予選競技終了後45分以内にインフォメーションデスクに提出すること。
- (12) リレーの引継ぎ判定はPT7000(PT8000)により判定する。
- (13) CSリレー種目メンバーの変更は、CS個人種目の標準タイムを突破している選手に限られる。
また年令別のリレー種目に出場する選手は、同種目のCSリレー種目メンバーにはなれない。
プログラムに全選手の個人番号が掲載されているのでリレーオーダー記入の際、使用すること。
- (14) 予選競技においてスタートはオーバーザトップ方式で行う。
次組のスタートが完了するまで水中で待機し、スタート終了後すみやかに自コースより退水すること。
ただし、リレー・メドレーリレー・背泳ぎおよび、各種目の最終組については、すみやかに自コースより退水すること。
- (15) バックプレート付のスタート台を使用する。調整は各自行う。固定されていることを確かめること。
- (16) 800m・1500m自由形ではA面は水中ラップカウンター、B面は周回板を使用する。
周回板は、折返し側の台中央に提示し、コールは行わない。
- (17) 公式計時セイコーによるバックアップはA面水中バックアップ、B面は半自動装置を使用する。
- (18) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること
- (19) 予選は組の紹介のみとし選手紹介は行わない。全ての決勝競技とCSのB決勝は選手紹介を行う。
- (20) 本大会は上訴審判団を設置する。

2. 表彰・得点・記録証について

- (1) 個人表彰
 - ① 1位~3位にメダルならびに賞状を、4位から8位に賞状を授与する。
 - ② 表彰は、12才以下は8位まで、13才以上は3位まで行う。
 - ③ 13歳以上の4位から8位までの賞状は1階ロビー、記録証発行所で賞状を配布する。
 - ④ 決勝種目終了後、女子・男子の順で表彰を行うので入賞者は所定の位置で待機すること。
 - ⑤ 優勝した選手は優秀選手の対象となるので最終日まで残ること。
最終日まで残れない選手は必ずインフォメーションデスクに申し出ること。(選考対象から除外となる)
- (2) 団体表彰
 - ① 団体総合表彰は8位までを表彰する。
 - ② クラブ対抗の得点は個人種目の年齢区分別・チャンピオンシップともに
1位10点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
チャンピオンシップにおける14歳以下の入賞者に対して12歳以下10点、13~14歳7点を加算する。
 - ③ リレー種目はすべて、1位20点、2位16点、3位15点、4位14点、5位13点、6位12点、
7位11点、8位10点とする。
- (3) 記録証を競技終了後即時発行する。選手は1階ロビー記録証発行所で、必ず受け取ること。

3. 全体スケジュール

期 日	開門時間	予選開始	決勝開始	終了予定	閉門時間
1日目 3月28日(木)	7:15	9:30	14:45	17:05	18:45
2日目 3月29日(金)	7:15	9:30	14:30	16:35	18:45
3日目 3月30日(土)	7:15	9:30	14:00	16:50	18:45
4日目 3月31日(日)	7:15	9:30	13:00	15:30	17:00

※開会式1日目9時20分～ *開始式1日目14時30分～ *閉会式4日目15時10分～

4. プール使用について

(1) メインプール

- ① 水温は28.0℃、水深は2.0mに設定する。
- ② 練習は競技開始15分前までとする。
- ③ A面は7・8コース、B面は1・2コースをダッシュコースとする。
- ④ 昼休みの練習は決勝・B決勝出場者のみ練習できる。
- ⑤ ダッシュコースの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑥ 公式スタート練習は午前8:30～9:15の間に行う。
- ⑦ パドルおよびコード類の使用を禁止する。

(2) サブプール・飛込プール

- ① 水温は28.0℃、水深1.4mに設定する。
- ② スタート練習はできない。
- ③ サブプール・飛込プールともに、メインプール側より1～4コースを女子専用、5～8コースを男子専用とし、日時を限定し2・6コースをペースコースとして400m以上の専用アップコースとする。
※飛込プールは決勝時、メインプール側の1・2コースは表彰対象者のダウン専用とする。
- ④ 競技中のホイッスルの使用は禁止する。

(3) 練習時の注意点

- ① 周回コースでは途中で止まらず、壁まで泳ぎ切ること(途中で止まっている選手は休憩とみなす)。
- ② 入水はスタード台右側より足から入水すること。左側からの入水は厳禁する。
- ③ ペースコースはクロールのスイムのみ利用できる。

5. 水泳場の使用について

- (1) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての規定」を厳守すること。
- (2) プールの中央にコーチのラップ席として開放する(場所取りは出来ない)。
- (3) 選手・付添コーチエリアには、一般は入ることは出来ない。
- (4) ADカードは、館内にいる時は常時首からさげていること。また入場の際には必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。
ADカード再発行は1,000円を徴収する。※写真は各自で準備し添付すること。
- (5) 更衣室のロッカーは使用できない。更衣のみに使用し控え場所にはしないこと。

6. 注意事項、その他

- (1) 公式掲示板を2階コンコースと1階ロビーの2か所に設ける。
- (2) プログラムの訂正およびミスプリントは、当日午前9時までに所定の用紙に記入の上、インフォメーションデスクに届け出ること。(前日提出可能な届け出は受け付ける)
- (3) 保護者及び関係者のビデオ・写真撮影の許可証は、常時首から掛け確認できるようにすること。
※監督・コーチ・選手のADカードおよびクラブ関係者席のADカードを着用している場合は、撮影許可証を必要としない。
- (4) 使用する水着は、FINA承認の水着を着用すること。水着の重ね着、2次加工は認めない。
- (5) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (6) 盗難防止の為、貴重品の管理については各クラブの責任において行うこと。
- (7) 忘れ物は一般出入口受付にて保管する。最終日競技終了後、廃棄処分とする。
- (8) 外国籍の選手または日本国籍を得てから3年以内の選手は、監督者会議終了後インフォメーションデスクまで申し出ること。
- (9) SEIKO競泳リザルト速報サービス (swim.seiko.co.jp)
日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコード・モバイル」(j-swim.jp)